

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加納高等学校 学校運営協議会（ゆめ会議かろう）（第3回）
- 2 開催日時 令和5年2月14日（火） 9：30～11：00
- 3 開催場所 加納高等学校 校長室
開催にあたり、委員によるSHOW文化祭参観を実施した。
- 4 参加者 会長 尾関孝彦 元県立高等学校校長 同窓会参与
中山道加納宿保存会会長
副会長 佐藤昌宏 元岐阜大学教育学部美術教育教授
委員 岩田百里 PTA会計
中村規子 ナーシングケア加納 施設長
志知正博 加納西自治会連合会副会長
水野律子 加納まちづくり会会長

学校側 高橋宗彦 校長
大平隆司 教頭
大前幸弘 事務部長
武藤芳紀 総務部長
大野超子 総務部担当

5 会議の概要（協議事項）

（1）令和4年度自己評価・学校関係者評価について

意見1：キャリア支援部について、生徒の自己将来像を考えさせることに関しての調査などの記載がない。大学卒業後のことをどの程度考えさせているのか。

⇒大学卒業後の進路希望等に絞った具体的な調査等は実施していないが、大学の学部学科等を調べる機会は設けており、その際に大学卒業後の就職先等も調べるように助言している。

意見2：総務部について、課題として「職員的意思疎通を図る必要がある」とあるが、どのような状態なのか。各学科、各教科の専門性があるので、独自に進めることがあることはやむを得ないかもしれないが、様々な課題について、加納高校としての共通認識をもって取り組んでいけるように意思疎通をしてほしい。

⇒大規模校であるため、教員の執務室が細かく分かれていることで、互いに接する機会の少ない場合がある。さらに校内会議のオンライン化などで効率よく進められるメリットがある反面、意見を述べ合う機会がもちにくいデメリットがある。

今後、職員室の机列を変更したり、会議での意見の吸い上げについて改善を図るなどしていきたい。

意見3：生徒支援部について、「スクールカウンセラーとの連携」「いじめ事案への迅速な対応」などがあるが、現代の高校生のいじめには、どのような特徴があるのか。

⇒いじめの定義において「受け手の不快」を重視するようになっている。本校の今年度の事案としては、部活動での人間関係に関する事案などであった。

意見4：生徒支援部について、交通事故件数が20件とあるが、どのような事故か。

⇒多くが自転車に乗っているの事故。重傷事故等はない。

意見5：基本的な生活習慣の確立は、学校の指導だけではなく親と連携して取り組むことが重要である。

意見6：内科検診等で再検査等指摘された生徒はいるのか。形式的な検診にならないように事後指導が必要である。

意見7：生徒が勉強することに手厚く支援されているようだ。

(2) 昼食弁当提供状況について

意見1：多くの家庭で弁当は自宅から用意しているが、夏場は気温が上がることから保管場所が心配な生徒・保護者もあり、弁当販売の需要が増えるかもしれない。

意見2：現在の需要は多くはないようであるが、システムとして提供できることはよい。
⇒現状は、注文が前日までということや、後払いの手数料があることなど課題はあるが、試行期間である現在の業者にはアンケート結果を伝え、改善を図ってもらい、生徒・保護者の要望に応えられるようにしていきたい。

(3) 学校ホームページを利用した保護者への学校活動周知への取組について

意見1：音楽科美術科のチラシは、受検する中学生が情報を得られて、よいと思う。

⇒コロナの関係もあり、行事等の減少から音楽科の情報発信が少なくなっていた。中学校での合唱経験も少なくなっており、情報発信を今後も続けていく。

(4) 令和4年度グローバル探究実践事業実施報告について

意見1：地歴公民、英語など教科横断的に取り組んでいることは素晴らしい。まず足元である岐阜県について調べており、生徒が苦労しただけの成果が出ているようである。

意見2：職員の負担感が増していかないような指導計画が望ましい。

(5) その他

意見1：SHOW文化祭は、2年美術科の作品など、この時期ならではのもので面白かった。狂歌・川柳も発想が自由。

意見2：特に抽象的な作品については作者の思いの説明がほしい。

意見3：2年間で大きく力がついている。先生方の指導の成果も出ている。演劇部の発表や演奏会も見かけた。

意見4：普通科も含めて、先生も生徒も授業第一で考えてほしい。

6 会議のまとめ

昼食弁当提供について今後も改善を図っていくなど、他の事項も含め本日得られた、貴重な意見・助言を、職員会議等で全職員に伝え、今後の本校の教育活動に生かしていきたい。